

市民協働のまちづくりによる都市宣言

わたしたち市民は、東松島市が将来にわたって住み良いまちとして発展していくことを願い、魅力あふれるまちを築き上げていくため、協働によるまちづくりを推進します。

東松島市合併5周年を記念し、躍動する明るい未来を次世代に引き継ぐことを誓い、市民協働の理念に基づいた市民の目標として都市宣言を行います。

平成22年10月17日制定

みんなで作る安全安心のまち

安全で安心して暮らせることは全ての市民の願いです。「自分達の安全は自分達で守る」ことを地域ぐるみの取り組みで実現します。市民が相互に声をかけあい、自助・共助の意識を高め、災害に強く、犯罪や交通事故のないまちづくりを目指します。

自然と人が融和するまち

東松島市の風光明媚な景観は、ここで生活する市民や訪れる人々の心を豊かで元気なものにし、海と大地の恵みにより生活が守られて来ました。こうした自然環境や食文化などを市民の手で守り、次の世代へ引き継ぐために、自然を大切にし、道端などの公共空間にゴミのない、美しい花が咲き誇るまちづくりを目指します。

愛があふれる子育て支援のまち

子どもは、地域社会全体の宝物です。子どもの笑顔があふれ、明るく子育てができる地域社会を構築するため、市民、行政が手を携え、それぞれが主体的かつ積極的に子育てを応援する愛があふれるまちづくりを目指します。

だれもが本に親しむまち

生涯学習は、人生を豊かにする源です。「読書」は日常生活に必要な「聴く・話す・読む・書く」といった能力を高めるだけでなく、将来を担う子どもたちにとって人生の可能性を広げるきっかけにもなります。先人の知恵と知識が凝縮された「本」を個人・家庭・地域に広め、読書が習慣化されるまちづくりを目指します。

あいさつがこだまするまち

あいさつは、人と人の心を結ぶ大切な絆です。誰もが自然にあいさつを交わすことで、互いの信頼感が生まれ、協調性が高まり、生き活きとした地域づくりに繋がります。いつでもどこでもあいさつがこだまする、心のふれあいが広がるまちづくりを目指します。

心うきうき明るい食卓のまち

東松島市は、豊かな自然や風土に培われた豊かな食の恵みを、郷土の食文化として守り育ててきました。現在では、食の安全や、健全な食生活を営むことが求められています。

また、子どもの豊かな人間性をはぐくむため、家庭の重要性を認識し、食を通じて、家族との触れ合いの場や礼儀作法を学ぶ機会が大切となっています。このことから、食卓から始まる健康づくり人づくりを目指します。